

#### 14. 第2－3回高木レクチャーについて

2006年3月26日(日), 中央大学で開かれた日本数学会評議員会にて, **Japanese Journal of Mathematics (JJM)** 編集委員が提案した高木貞治の名を冠した講座「高木レクチャー」の創設が承認されました.

「高木レクチャー」では, 毎年, 世界から卓越した数学者を日本に招き, 非専門家向けにわかりやすく講演をしてもらい, その講義をもとにした研究総説を **JJM** に寄稿していただく予定です.

第1回高木レクチャー (2006年11月25日(土)－26日(日)), 京都大学数理解析研究所)で講演をしていただいた **S. Bloch, P.-L. Lions, S. Smale** による研究総説は **JJM Vol. 2-1** (2007年3月), **C. Voisin** による研究総説は **JJM Vol. 2-2** (2007年9月) で出版されました. なお, **JJM** は各冊子の個別販売 (会員割引 7500 円 (+税 375 円)) で日本数学会より販売しております.

また, 講演のビデオも

[http://www.math.or.jp/videos/2006takagi\\_lecture.html](http://www.math.or.jp/videos/2006takagi_lecture.html)  
で公開しております.

第2回高木レクチャーは以下の日程で行われました.

日 時 : 2007年5月26日(土)－27日(日)

場 所 : 東京大学大学院数理科学研究科  
大講義室

講演者 : **K.-H. Neeb** : 「局所凸位相群のリー理論に向けて」, **D.-V. Voiculescu** : 「自由解析の様相」, **M. Yor** : 「ウィナー測度に対するペナルティ法」

第3回高木レクチャーとして予定しております内容は次のとおりです.

日 時 : 2007年11月23日(金・祝)

場 所 : 東京大学大学院数理科学研究科  
大講義室

講演者 : 牧野淳一郎 (国立天文台理論研究部) : 「手作り計算天文学 — ハードウェア, アルゴリズム, ソフトウェア, サイエンス」, **P. Malliavin** (パリ第6大学) : 「無限

次元の群の不変および準不変な確率測度」

なお, 当日は各講義の概要を冊子にて配布する予定です.

詳しくは高木レクチャーの HP をご覧ください.

[http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~toshi/takagi\\_jp/](http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~toshi/takagi_jp/)  
(**Japanese Journal of Mathematics** ・  
第3回高木レクチャー組織委員会  
小林俊行記)